

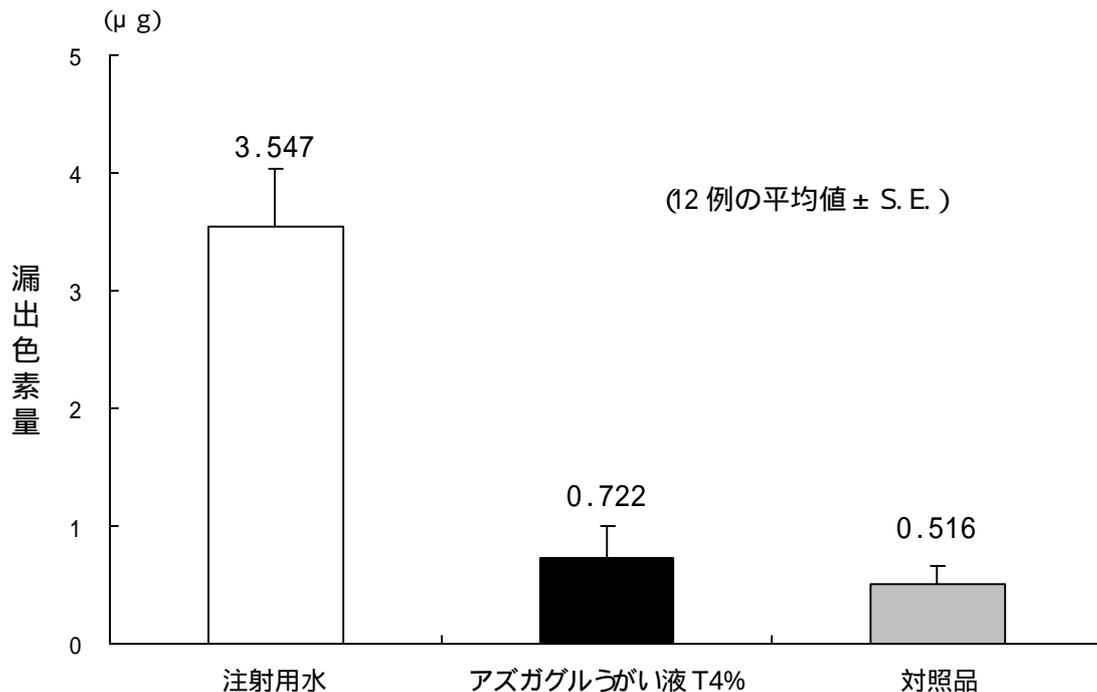
アズガグルうがい液 T4%の薬効薬理比較試験

消炎作用(口腔内毛細血管透過性抑制作用)(ラット)

【実験結果】

アズガグルうがい液 T 4 % は、ラットの実験的口腔内毛細血管透過性モデルに対し、コントロール(注射用水)群に比して有意に血管透過性の亢進を抑制した。

アズガグルうがい液 T 4 % と同種対照品との間に有意な差はなかった。



【被験薬】

当本品：アズガグルうがい液 T 4 % [Lot. NZ0401]

対照品：アズノールうがい液 4 % (日本新薬株式会社) [Lot. 00218]

【実験動物】

ラット(5週齢、雄、1群12匹)

【実験方法】

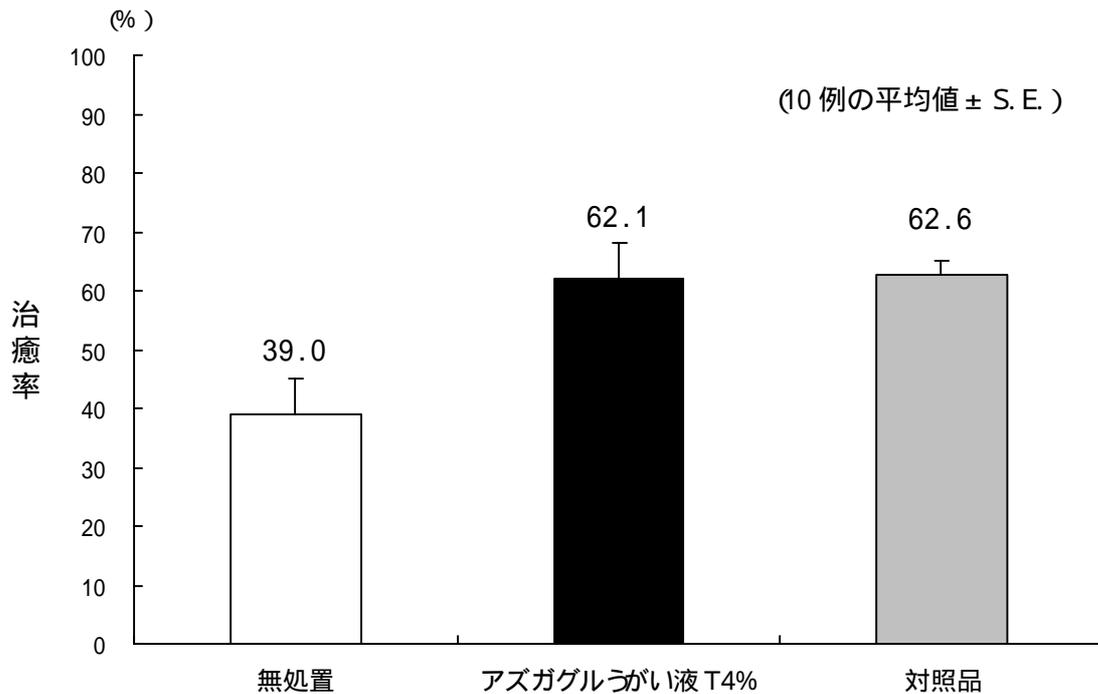
ラット(5週齢、雄)にアズガグルうがい液 T 4 % 及び同種対照品(両薬剤、注射用水で20倍希釈)それぞれ0.5mLを口腔内に注入し、20分後に色素を静脈内注射した。その後炎症惹起物質として酢酸を口腔内注入し口腔内毛細血管透過性を亢進させ、20分後に口腔内に貯留している液体の色素を定量した。

口内炎治癒効果(ハムスター)

【実験結果】

アズガグルうがい液 T 4 % は、ハムスターの口内炎モデルに対し、コントロール(無処置)群に比して優れた口内炎治癒率を示した。

なお、アズガグルうがい液 T 4 % と同種対照品との間に有意な差はなかった。



【被験薬】

当本品：アズガグルうがい液 T 4 % [Lot. NZ0401]

対照品：アズノールうがい液 4 % (日本新薬株式会社) [Lot. 00218]

【実験動物】

ハムスター(7週齢、雄、1群10匹)

【実験方法】

ハムスター(7週齢、雄)の実験的口内炎モデルを作製し、アズガグルうがい液 T 4 % 又は同種対照品(両薬剤、注射用水で800倍希釈)をそれぞれ2.5mL/回の用量で1.5時間間隔で1日5回、7日間含嗽し、創傷部の治癒率を算出した。

$$\text{治癒率(\%)} = \frac{\text{第1日目の創傷面積} - \text{各測定日の創傷面積}}{\text{第1日目の創傷面積}} \times 100$$